

令和6年（2024年）3月吉日

人権部だより

西宮市立平木中学校
PTA会長 岡田 和歌子
人権部部長 川松 沙織

早いもので、今年度も残すところあとわずかとなりました。

本号では、前号に引き続き「人権学習会」のレポートと、2月に平木中学校で開催された「人権講演会」の様子をお伝えします。

12月9日 にしのみや人権フォーラム

「誰かがあなたを必要としている

～本当の人権は自分自身から始まる～」

吉本新喜劇座長として人気を博した故・岡八朗さんの長女であり、現在はゴスペル歌手としてご活躍されている市岡裕子さんの講演会に参加しました。

小さい頃は岡八朗の子として周りからかわれることが多く、有名人を親に持つ子どもゆえの苦悩が多くあったようでした。

さらには16歳でお母さんの死、のちに弟さんの死、お父さんのアルコール依存症…たくさんの壮絶な経験をされてきた市岡さんですが、そんな過去を感じさせない明るさとパワフルさが印象的でした。市岡さんは、どんな時も見守り支えてくれる人がいてくれたから今の自分がある、ということにとっても感謝されていました。

周りの人に優しくすることで感謝してもらい、人から感謝されることで喜びを感じることができる。まず先に「give」があってそのあとに「take」がある。つらいことを経験したからこそ人にやさしくなれる、というお話にはとても説得力がありました。

最後には「アメージンググレイス」とオリジナル曲の「愛があなたを待っている」の2曲をパワフルな歌声で披露してくださり、温かい気持ちで会場を後にしました。

今回講演会に参加して、自分自身を大切にして自分を好きになること、人と比較しなくて良いということ、大人が子どもにける言葉の影響、どんな考えを学ぶかによって偏見を持たない人間形成ができる、といったたくさんの気づきを与えていただきました。



人権フォーラムは毎年人権週間(12月4日～10日)に開催されています。会場のプレラにしのみやでは人権に関するパネル展示や講座などの啓発事業も行われています。



平木小PTA同和人権教育部・平木中PTA人権部・平木小中学校父母の会共催

人権講演会

2月8日に、平木中学校にて3団体共催の人権講演会を開催しました。

今回は、元平木小学校長で現在は西宮市人権教育推進課にご勤務されている田中幸作先生をお招きし『人権、人権教育って！？～同和問題の科学的認識を通して～』をテーマにご講演いただきました。

“差別”と“区別”の違いとは？「“区別”は科学的根拠がある区分け」に対し「“差別”は正当な理由や科学的根拠のない区別」であるとのこと。固定観念やイメージ、偏見なども差別であり、それが人権侵害につながります。人権問題が時代とともに多様化する中で、人権侵害を防ぐためには「正しい知識理解」と「豊かな人権感覚」を育む『人権教育』が重要です。その重要性を、同和問題の観点から部落差別の歴史的背景や経緯、現状を通して強く訴えておられました。

哲学者ソクラテスの言葉「無知は罪なり、知は空虚なり、英知を持つもの英雄なり」の通り、無知が人権侵害につながることもあります。無知・無関心ではなく、家庭でも日頃から様々なことに関心を持ち、正しく理解し、自分も周りの人にも心を配ることが、人権関心・人権教育につながるということを教えていただきました。

~~~~~ 参加者の感想(抜粋) ~~~~~

- ◎時代の移り変わりとともに、人権問題も多様化していることを意識する必要があると思いました。思っているだけではなく、態度や行動に移すということが大切だと子どもにも伝えていこうと思いました。
- ◎まずは親自身が人権教育に関心を持って、様々なことに心を配ることを実践したいと思いました。正しい知識を持ち、子どもに関心を持ってもらうよう、家庭でも話して人権に対する理解を深めたいです。
- ◎普段の生活で何気なく行っている自分の行動が、相手の人権を侵害してしまっていることが少なからずあると反省します。特に子どもに対しては、親の責任としつけを混同しないよう行動していこうと、改めて思うことができました。
- ◎同和問題について、歴史を振り返って知ることができ良かった。普段何気なく受け入れている慣習など自身でも問いただし、子どもたちとも会話の中で一緒に考えていく時間を作りたい。



最後に、講演の締めくくりに朗読された国友隆一さんの詩を紹介します。

心は使えば使うほど豊かになる。人に配れば配るほど温かくなる。心は大いに使うべきである。多くの人にできるだけたくさん配るべきである。それによって自分の心が豊かに、温かくなる。周りの人たちの心まで豊かに、温かくなっていく。

.....

“全ての人の人権が尊重され、安心して生活できる社会”を実現するためには、一人一人が人権意識を持ち、人権感覚を高めなければいけません。人権部の活動が、少しでもみなさまのお役に立てれば幸いです。